特 246
420

（以印刷代謄寫）

忘れられんとする山東問題

星野桂吾

②

0010717000

0010717-000

特２４６－４２０

忘れられんとする山東問題

星野桂吾・〔著〕

〔星野桂吾〕

〔昭和８〕

ABJ

この著作物は、著作権者不明のため、著作権法
第６７条の規定に基づき、平成１２年３月２３日
付けで文化庁長官の裁定を受け使用するものです。

特 2
420

（以印刷代謄寫）

忘れられんとする山東問題

星野桂吾

特246
420

忘れられんとする山東問題

星野桂吾

滿蒙協會
寄贈本

一、山東問題の回顧

卒直に言へば、彼の柳條溝の一彈が今日、滿蒙問題解決の動機となつた樣に、山東問題も何れは清算の機會がなからねばならぬ。但し山東には張學良の如き人物は居ないから、民衆の總意に據てどうこうと云ふ譯には行かないかも知れぬ。然し支那の統治者を相手に解決しなければならぬ問題は累積して居ると云つてもいゝのである。

而かも山東には我が同胞の現住者實に約一萬五千人を算し、母國との交渉に於て等閑視すべからざる問題が重疊して居るのである。此の一萬五千人の

同胞が今日有ゆる苦難を忍びつゝあるのも、何れは清算の機會が到來すると云ふ雄々しい希望を繫いで居るからである。滿蒙の清算、山東の清算、何れにせよ從來の懸案を解決し國土安泰、東亞の光を世界に示さむとするに外ならない。

山東問題も曾ては世界の視聽を惹起し我が朝野論戰の標題となつたものである。山東問題と支那の排日問題とは殆んど不可分的のものとして取扱はれたこともあつた。故に支那の排日運動を根絶するには山東問題を放棄するに限るなど、認識不足を通り越した盲目論をした人もあつた。山東問題の最頂點は何と云つても華府會議である。當時山東に在住した同胞の血管は破裂せんばかりに激動した。支那の方でも他力本願は此時とばかりに躍動した。夫れもその筈である。先に（大正四年五月二十五日）支那は日本に對し、

一、從來獨逸が山東に關し條約其他に依つて有する一切の權益處分權を承認する。

二、支那は速に外國人の居住貿易のため自ら進みて山東省に於ける適當なる諸都市を開放する。

事を約し、更に陸徵祥外交總長から我が日置特命全權公使宛の公文で、

「支那國政府は山東省內若くは其の沿海一帶の地又は嶋嶼を何等の名義を以てするに拘らず外國に租與又は讓與することなかるべし」

の一札、夫れから、

一、膠州灣全部を商港として開放する。

二、日本國政府に於て指定する地區に日本專管居留地を設置する。

三、列國にして希望するに於ては別に共同居留地を設置する。

旨を公約し、又同年九月二十四日には、

「山東鐵道は日支合辦で經營すること、濟南順德間及高密徐州間の鐵道

は日本資本家よりする借款を以て建設すること」を欣然約束したものである。支那の態度がさうであつて、當時の日本の要路も「茲處を墳墓の地」として投資經營せよと激勵されたものだから、在住同胞が安心して腰を据へたのも無理はない。

然るに大正十一年二月の華府會議で夫れがガラリと變つて了つた。即ち

一、青島を支那に還附する。

二、青島の公有財産一切を支那に移轉する。

三、山東鐵道は金四千萬圓の國府證券を交付して日本から之を引繼ぐ。

四、濟南順德間及高密徐州間の鐵道建設權は國際財團に開放する。

此の華府會議の結果こそ、云はば日本の北支經濟發展途上の一大障壁となつたものであらう。驚いたのは山東在住參萬の同胞ばかりではなかつた。母國でも軟弱外交とか追從外交とか喧々囂々と論議されたものである。

吾人は茲に夫れを繰り返して批判しようとは思はないが、少くとも今日叫ばるゝ自主外交とか協力一致とか兎に角當時國民の力で押しの一手で行つたなら、山東の發展は昨今非常なものであつたらう。然し山東三萬の同胞は「國策の犠牲」と稱して隱忍したのである。さうして排日は更に止みさうもなく支那の他力本願は增長する一方で、歐米の暗躍も、滿洲の暴君張作霖のやり方も眼に餘るものが多くなつたのである。そこで端的に言へば一體日本は華府會議で何を得たか？と云ふ事になる。頭の下げ通しで今日となつてみれば、日本丈けが約束を實行し、支那は一つも履行しない。故に突込んで云へば山東問題は未だ完全に解決されてゐないと云ふことになる。然るに此の重大問題を日本の朝野が忘却してゐる傾向がある。洵に國威國權の爲め寒心に堪えない。

二、日獨戰後二十年

獨治時代十七ケ年の經營は鐵道に鑛山に、港灣に或は市街に交易に驚嘆すべきものがあつた。獨逸人が青島を小ベルリンと云ふのも強ち大言壯語ではない。特に砲壘に至ては難攻不落と唱へられた旅順以上で、常に之を支那の大官に見せて威壓したと云はれてゐる。實にあの占據振りでは將來東洋にどう云ふ事を仕出かしたか判らぬ。然るに日獨戰爭の結果、大正三年十一月七日、總攻擊七日にして哀れ獨逸の深謀遠計が根底から覆へさるゝに至つた事は當に天の配劑と云はねばならぬ。之は吾々永く銘記すべき事で、山東問題を想起する時忘れてはならぬ大切の事である。

そこで獨逸時代が十七ケ年之に拍車をかけ更に面目を一新した日本時代が八ケ年、夫れから今日まで支那時代十一箇年、つまり前後三十六年間に一漁

村が變じて支那の大貿易港となり、山東なるものゝ存在が世界的に認識さるるに至つたのである。然し日本との交涉並に支那沿岸貿易並に對外取引の上から云へば、何と云つても日獨戰後日本時代に發展の基礎を造り、殊に同胞の經濟關係に至つては全く此の時代に植付けられた事は勿論である。即ち其の間實に二十年に達して居る。

二十年の歲月は決して短くない。當時茲處を墳墓の地と決めて活躍した壯者も今は老境に入り、當時生れた子供も今は立派な青年となつて居る譯である。而も彼等二十年の悪戰苦鬪は未だ何等報ゐられない。否報ゐられぬのみか、時に却つて支那內亂の危險やら支那暴政の慘害やらで伸びんとする力も如何ともすることの出來ない狀態に在る。殊に山東鐵道沿線から濟南に至る地方に散在する我が同胞は、吾人が想像も及ばない不利不便を忍び商勢擴張と國力發展の爲に健鬪しつゝあるのである。之れを曾て日本時代の施設に想

到する時、是等同胞の胸中眞に同情に堪へないものがある。

三、在住同胞の現狀

所謂日本時代に在ては約三萬の同胞を算し、支那各地に於ける在留邦人としては最多數を占め、青島から濟南まで日本內地氣分で充たされたものであるが、華府會議の結果之れを支那に還附後は色々な關係で其の半數約一萬五千となり、まるで火の消えた樣な情態となつた。現在僅に四方（青島市外）の紡績工場と淄川（山東鐵道沿線）の炭鑛で氣を吐いて居る位ひである。勿論日本時代の面影は多少殘つてゐるが、其の內容に至つては苦心慘憺たるものがある。若し夫れ之を詳細に點檢せんか、吾人は今猶一萬五千の同胞あるを寧ろ意外とせざるを得ないかも知れぬ。之に比し支那人の居住者は年々增加する一方で、最近の調査に據ると實に約四十萬の多數に上つて居る。從つて

此の內には上海其の他の排日巨頭と連絡を取つて在留同胞に迫害を加ふる者も出て來る。而して支那側の暴政は限りなく、市政の改革に就て云ひたい事も云ふべき機關なく、日本との電報料は非常な高率であり、鐵道は軍閥の爲めに亂用され、不當課稅は容赦なく押付けられ、實際文句を列べると限りないと云ふ有樣である。左樣な處は一日も早く見切りを着けた方がいゝではないかと云ふ人があるかも知れぬが、一面から見れば最早動くにも動かれぬ實情にありはしないか。還附後十年有ゆる辛苦困難を重ねてゐるのも他日の光明を期待してゐるからである。

他日の光明と云ふのは山東問題の徹底的解決と云ふ事である。華府會議の條約を支那をして履行せしむると云ふ事である。更に換言すれば懸案一切を解決して、日支協力東洋永遠の樂土を建設すると云ふ事である。

而かも此の事たるや我が朝野の奮起と、支那政府の覺醒とに依らば何でも

ない事である。然し其の支那政府の覺醒と云ふ事は言はゞ百年河淸であるから、勢ひ我が朝野の奮起を促さざるを得ないのである。

若し山東問題をあの儘放任して顧みないならば、在住同胞の苦節十年の基礎は素より我が國威國權の失墜は多大なものがあらう。現に英米其の他の魔手は支那の他力本願と相俟つて隱然山東に延ばされつゝあるのである。其の最も注目すべきは膠濟鐵路（山東鐵道）である。此の鐵道は日本からの借款鐵道で（金四千萬圓年利六分）運輸主任と會計主任と二名日本から監督の爲め派遣されてる鐵道で、山東開發の死活は懸つて此の鐵道に在る譯であるが、支那は陰に陽に之を回收せんと計畫して居るのである。從來二名の日本監督官が居てさへ我儘勝手に振舞つた此の鐵道であるから、若しそう云ふ事になれば日本人は手も足も出されぬことになるのは想察に難からぬ處である。

現在山東の日支關係が他の各地に比して割合圓滿に行つてゐるのは韓復榘君や沈鴻烈市長などの力與つて大なるものがあるは素よりであるが、之れが所謂親善關係から出發してゐると考へたならば大間違ひで、實は彼等が日本の強硬なる行動を恐れての消極的防禦手段である。而もこれとて支那のことであれば何時惡化するか判らぬ。表面平穩のやうではあるが、内部には色々の畫策が行はれてゐる。

今左に其の二、三の事例を擧げて見やう。

一、青島取引所は大正九年日本守備軍の發令で物産錢鈔及び證券を取引物件とする官營で生れ、其附屬會社として日支合辦青島取引所信托會社が設立されたが、同十一年守備隊の撤退に依り官營取引所業務を會社に繼承し株式會社青島取引所と改稱今日に及び順調に經營されて來たが、昭和六年排日業者が苦情を持出し市政府に向つて、「青島取引所は日本商法に依る法人であるから、支那側は別に交易所を所有すべ

し」と申出で同時に市黨部の監視員が、支那人取引人に對して脱退を强要し、同九月青島取引所の眞向ひへ青島物品證劵交易所籌備所（創立事務所）を設立し、籌備所の儘取引業を營んで一地方同種一取引所の原則は世界共通の不文律なるに拘らず、一地方同種の二取引所を認むるの不法を敢てし今日に及んでゐる。此事實は、排日屋が暴力を以て支那の業務者を脅かし、法律を無視して籌備所の儘で取引所の直ぐ前に蟠居して飽く迄も營業妨害をなしつゝあるに拘らず、之を取締る事もせねば合法的に解決もせず、實質的には排日行爲を助長するの結果を齎らしてゐる。

二、青島電話局は「中日實業公司」の借欵擔保となつてゐるが、最近南京政府ては之れが增設擴張の爲め勝手にシーメンス其他の外國會社から電話機及各種の材料を購入せんとして中日實業から嚴重な抗議を持込まれて居る。

三、日本人所有の自家用人力車及び自轉車に對して無法にも車税を徵收せんとして居る、之がため在住の同胞は其の違法を鳴らして居る。

四、山東邦人の工業原料輸入に就ては從來市政府に手數料を拂ひ、南京政府財政部から護照を取つてゐた處、今後は山東硝礦總局を通じてくれと云つて手數料の拂戾もせず願書を突返して來たので我が總領事館から嚴重に抗議中である。

五、滿洲國から來る郵便物に對しては一々不足税を徵收してゐる。夫れが大連局の取扱でも、差出人が滿洲國の住所になつて居れば不足税を取ると云ふ有樣、之れは滿洲と山東との關係が非常に密接である丈け大問題となつて居る。

六、日本からのボロは廢物利用として山東方面に頗る賣買されるもので

あるが、最近之れが、輸入税に就て問題を起して居る。之れはボロ輪入組合と海關との協定を無視された事に因由して同業組合の奮起となつたものである。

其他數へ來れば枚擧に遑ない。而して問題は何れも山東の開發、日本人の悪戰苦鬪に據る地盤擁護に關係ないものはない。斯樣にして山東の同胞は、云はゞ母國から見放され、支那暴政に喘いでゐる現狀である。

四、山東開發の急務

之れを滿洲方面の例に取れば、青島は宛かも大連の如く、山東鐵道は南滿鐵の如く、濟南はハルピンに、淄川博山の鑛坑は撫順の夫れの如きものである。奥地の開發如何に據て青島の消長がある。青島の開發は軈て日本との航路關係、南は上海、北は大連にも影響を及ぼすものである。而して山東鐵道は津浦鐵道に連絡し、更に河南山西の富源を控えてゐるから山東の將來は甚だ注目に値するものであるのみならず、山東夫れ自身が未開の地で、農産と云ひ鑛産と云ひ、又工業方面と云ひ、開發の餘地充分なるものがある。其主要産物を拾つてみても落花生、豆粕、棉花、麥稈、眞田、胡桃、牛皮、鷄卵生牛、小麥、野菜、柞蠶、鹽、石炭、葉煙草、絹紬、羊毛等がある。特に石炭、獸肉、鷄卵に至つては無盡藏で、若し日本內地の供給不足の場合は何時たりとも之れを補ひ得る丈けの生産力を持つてゐるのである。此の事實は曾て山東と商取引を行つた者の周知せる處である。

吾人は是等の山東物産に對する日本內地の實業家が聊か無關心なるを怪しむものであるが、夫れは山東の現狀を以てしては到底手を出せぬ關係もあらう。然し其の障壁を除去して之れを東洋經濟の要素とする努力は必要でなからねばならぬ。又日本製品の販路から云つても洵に屈強な地點である。現在

に於ても綿布、綿絲、棉花、燐寸、石油、砂糖、鐵屑、セメント、諸機械、麥粉等は續々輸入されつゝあるから、日本商品の發賣指導奬勵如何に依ては其の販路洋々たるものがある。而して山東の奧地は勿論、山西、河南方面に進出するならばいくらでも消化されることを斷言して憚からぬ。然し之れも關税の改革、政局の安定を前提とすることは勿論である。

更に工業方面に於ても進展の餘地は充分ある。現在青島に於ける日本人の工業としては五十餘種を算することが出來るが、この內紡績業と化學工業と木工業とが最も多數を占めてゐる。燃料の豊富安價なると勞働者の容易にして賃銀の底廉なる點並に原料の供給關係から考察し、各種工業の發展は期して待つべきものがある。

以上經濟的見地から云つても山東の開發は甚だ重要性を持つてゐるのであるが、之れを我が國防的見地から云つても頗る等閑視し得ないものがある。

滿洲國の獨立を擁護し之れを助長して我が國防の完全を圖る以上、山東から直隷に及ぶ地點が如何に重要であるかは論ずるまでもない。

今や日本に於ては農村と中小商工業者救濟の聲に滿たされ、產業合理化論を以て國を蔽ひ、滿蒙集注主義で一貫されつゝある觀がある。然るに經濟的に國防的に最も重要視せねばならぬ山東が朝野に忘却されんとするに至つては斷じて吾人の沈默を容さゞる處である。特に支那が華府會議の條約を履行せず、陰に陽に國權回復を名として暴政を行ひ、爲に一萬五千の我が同胞が一億餘萬圓の投資と二十年間に築き上げたる地盤を擁して其の進路に迷ひ、東亞の樂土たらしめんとする山東が列強の野望地化せんとするに至つては吾人の實に忍び能はざる處である。

五、朝野の奮起を促す

滿洲國は既に獨立國として承認され、今や經濟建設を急いでゐる。諸般の施設も着々實現して其の建國精神の發露に餘念がない。我が朝野の全力を擧げて滿蒙に集注されてゐる事は、洵に結構なことであるが吾人は一面東亞の大局から考へ「山東をどうする」と云ふ事をも愼重に考慮されんことを要望するものである。否な今日の場合は滿洲と殆んど不可分關係に在る山東に對し急速に其の對策若くは解決策を講ぜられんことを切望するものである。吾人をして卒直に言はしむるならば、山東問題の解決は直に滿蒙に一大安定を與ふるものであると云ふ事である。而して延て對支諸懸案解決の曙光となるものである事を切言するものである。勿論吾人は何等侵略的野心はない。一に日支共存共榮、東亞大局の大見地から速に山東問題を徹底的に解決せよと叫ぶものである。

山東問題の解決は獨り在住日本人の渴望のみならず、山東の支那人も日本時代からの歐米人も之れを要望してゐる事は明かである。日本が正義一點張りで、世界人類愛に天職を保持してゐる事は彼等の能く承知せる處である。曾て山東問題が華府會議の爼上に致さるゝや、山東支那人の一部にも、歐米人の一部にも山東は飽く迄日本の委任統治に一任した方がよいと云つた者があつた位である。

然らば山東問題の解決とは何ぞや。吾人をして端的に云はしむるならば、大體次の樣なことになる。

第一、支那をして華府會議の約束を履行せしむること

即ち華府會議で約束した條項中支那が履行しない事は概ね次の通りである。

イ、市政參與權

これは條約附屬書に「公共施設の經營及維持に付外國居留民團體に公正なる代表權を有せしむべき事を聲明す」又「外國居留民の福祉及利益に

直接の影響あるべき市政事項に付支那地方官憲が該居留民の意見を確むべきことを聲明す」と明示してゐる。然るに一萬五千人の多數同胞を有する日本に對し未だ何等の市政參與を圖つてゐない。之れが爲めに在留日本人が如何に困却してゐるかは前述の通りである。

ロ、沿線商埠地の開放

これは山東鐵道沿線に於ける樞要地の開放であるが未だに之を實行してゐない。而も此事たるや山東開發の爲めには甚だ切要なる問題であつて在住同胞の發展に至大の關係がある。

其他華府條約の精神たる「日本及支那は共に友誼的に且つ兩國の共同利益に適應して眞摯なる希望を以てする」事項中之と反する事は屈指に遑ないが夫れは暫く措き、兎に角前掲二大項目は速に支那をして履行せしめねばならぬ。

第二、在住同胞の發展を助力すること

山東還附後十年の久しきに亘り悪戰苦闘せる在住同胞をして一層發展せしむるためには、幾多の方策があるが、不取敢急を要するものは左の各項と信ずる。

イ、山東鐵道延長線の急施

これは曾て支那が日本に對し約束した問題であるが、華府會議に於て國際財團に開放することに變更された濟南順德間及高密徐州間の鐵道敷設を云ふものである。之はやり方に由ては山東鐵道を培養する延長線で、山東開發の爲にも急務とするものであるが、最近の情報によると支那は巧に日本を除外して之を敷設する爲めにあらゆる手段を講じてゐる樣である。而も其のカラクリが膠濟鐵路から出る樣では油斷も隙もならない。之はどうしても華府會議前の支那の聲明を實行させ膠濟本線と不可分と

しなければならぬ。

ロ、輸入税率の改訂を打破すること

之は最近（本年五月二十三日）國民政府が突如實施した輸入税率の改訂で、之が爲め加工輸入綿布の如きは多大なる打撃を蒙つてゐる。此の改訂に對して速に之れを打破することが必要である。

ハ、悪税を撤廢若くは阻止すること

支那内政の紛亂より生ずる色々な徴税があるが、是等は夫々研究の上之が廢止又は阻止を必要とする。

ニ、日本商品の販路擴張

之は前述せる通りであるが何分支那に排日的の輸入税率があるから、非常に困難な問題であるが、夫等の障壁を一掃して是非共山東方面から更に奥地に販路擴張を行ふ必要がある。之に就て日本内地に在つては夫々對策が講ぜられつゝある様だが、更に積極的に朝野協力せむことを切望する。

ホ、産業奬勵金融機關の設置

之は最も緊急問題である。曾て在住同胞は日本政府から三百萬圓の低資融通をうけたのであるが、今日山東方面の經濟的形勢を觀望すると更に一段の資金を要するのである。特に土地不動産の確保（日本人が公然支那に於て土地を所有することは青島丈け）夫れから山東開發に要する資金供給は目前の急務で山東に於ける我經濟的實力を發揮するには之が先決問題である。起死回生の方策は此の資金供給より外にない。依て之が具體化に就ては吾人の腹案は他日に讓り、我が朝野の協力一致速に實現せんことを切望するものである。

之を要するに山東問題は根本的未解決の儘放置されてあると云つてもよい。

而も其の重要性を持つ事吾人が前に少言した通りであつて、滿蒙一點張も決して惡くはないが、之と密接なる連繫を持つ山東に對しても大に考慮しなければならぬ。山東と滿洲との關係は獨り地理的に交通的に密接な關係があるばかりではない。山東からは毎年三十萬乃至四十萬の人間が滿洲に入り込むのである。故に之を遡つて考査したならば、どれ丈けの山東人が滿洲に定住してゐるか判らぬ。心ある者は滿洲の統治を思ふ時、直ちに山東を聯想せざるを得ぬのである。而も此の山東勞働者の群れは今も猶滿洲に向つて滾々として盡きないのである。而して山東在住日本人の多くも亦曾ては滿洲開發に當つたものである。

故に彼等の多くは滿洲に行く事を第二の故郷に歸る思ひをして居る。日支人共に滿洲と離るべからざる關係を有せる事は、吾人の大に考へねばならぬ點であると思ふ。況んや其の經濟問題、國防問題に於てをや。

斯かる重要性の山東問題を荏苒放任して顧みない我が朝野は、何れはまた「認識不足」の唱呼を受けねばならぬかも知れぬ。殊に支那の他力本願に乘じて列强の魔手は遠慮なく山東に延びつゝある。吾人は東亞の大局から考へ山東の樂土建設の大計から慮り、之を華府會議前の山東に還元するため、此際速に我が朝野の善處を促す所以である。

353
17